

別紙3「第4回羽村市長期総合計画審議会 委員の意見等」

その他 第3回審議会での意見、市からの回答に対する追加意見等

【参考】第3回審議会時の意見等と市からの回答

No	委員名	資料No.	追加意見等	委員名	意見・質問等	市からの回答
1	中村委員	第4回資料4 P.5 No.31	「高齢化に伴い分別が困難」との説明に異議あり。以前にペットボトルの回収を拠点回収から個別回収にした時も高齢者の「大変だ」という意見で切り替えたという悪例がある。「家庭が一番小さいゴミ処理場」という考えを市民に徹底してほしい。どうしても分別ができない高齢者には個々に対応。	平野委員	・最終処分場への埋め立てゴミがゼロになったことは高く評価できる。 ・高齢化世帯のゴミの分別については、その困難さを軽減する策がとても必要だと感じている。	羽村市は、これまで歩んできた歴史や地域性から、ごみの適正処理の関心が高く、市では、法律に即し率先した対応を図ってきた。その結果として、ごみの減量と資源化の促進が図られており、このことは、市民や事業者の努力によるものと捉えている。一方、少子高齢化の進展に伴い、17分別での排出が困難との相談が寄せられていることから、次期計画においては、その対応策を講じていきたい。 (産業環境部)
2	中村委員	第4回資料4 P.6 No.39	事業ごみを含めての計算には疑問。一人当たりのごみ量が計算できないものか。市民は分別を徹底して資源化を目指し、燃やすごみを少しでも減らそうと努力している。それが評価されない計算の仕方はいかなものか。	平野委員	ごみ量について 羽村市民の1人1日あたりごみ量が、他の多摩25市に比べてこんなに多いのはなぜか。	資料のごみの量については、羽村市の特性として、市内に数多くの事業所が立地し日夜操業しており、家庭ごみだけでなく、事業所から排出されるごみを含めて人口で除したものであることから、1人1日あたりのごみ量が、26市の中で高くなっている。 (産業環境部)

第2回審議会資料

資料3、P.8

第2回審議会資料

資料3、P.25